

自由民主党再要望項目一覧

平成26年度当初分

要望項目	左に対する対応方針等
1 山陰新幹線等高速鉄道網のあり方検討事業の事業名について	
山陰新幹線等高速鉄道網のあり方検討事業の内容は、山陰新幹線に留まらず、県内の高速鉄道網のあり方について、幅広く検討することから、「山陰新幹線等」を削除し、事業内容に合致する事業名に変更すること。	事業名を「高速鉄道網のあり方検討事業」に変更する。
2 薬物乱用防止の啓発について	
これまでの取り組みでは、薬物乱用防止指導員が、小中高校等において講演するなど、薬物乱用防止の啓発を行っているが、真に薬物乱用の怖さを教えるためには、学校現場で薬物乱用経験者による講演が効果的であると考えられることから、学校現場とも相談した上で、実施に向けて、検討すること。	<p>学校現場での薬物乱用防止の啓発は重要であり、鳥取県薬物乱用対策推進本部会議、同本部実務者会議などを通じ、薬物依存経験者の支援組織、教育委員会その他関係機関を交えて、効果的な啓発方法を検討している。</p> <p>学校現場では小学校・中学校・高等学校において、「体育」や「保健体育」の教科の中で、それぞれの発達段階に応じ、薬物乱用の健康への影響、薬物乱用が引き起こす社会問題等について指導を行っている。</p> <p>教科での指導以外では、専門的知識を有する警察官、医師、薬剤師等を講師に「薬物乱用防止教室」を開催している。</p> <p>薬物依存経験者による講演については、児童生徒の受け止め方によっては、薬物の持つ興奮作用に興味を持ったり、薬物に依存しても容易に回復すると誤解したりする恐れもあり、児童生徒の発達段階や理解力などに配慮していく必要があるが、効果的な方法と考えられるため、実施にあたり知事部局と教育委員会とが連携して検討していきたい。</p>
3 市町村管理漁港の浚渫等の維持管理工事に対する財政支援について	
従来、県管理であったものが市町へ管理移管されたことにより、市町の厳しい財政事情により、十分な維持管理費が確保できないため、港口の堆積砂の掘削が十分できず、船の出入港の際に時にはスクリーが砂につかえる等により、日々の漁業に重大な支障を生じている。ついては、県独自で市町への財政支援を行うよう、検討すること。	<p>市町管理漁港の浚渫工事等の維持管理については、地方交付税で措置されており、また、概ね5年に1回の国の補助制度を活用するなどして対応していただいている。</p> <p>県としては、効率的なサンドリサイクル及び浚渫工事費用の軽減を目的として、本年度から陸上海岸でサンドポンプを用いた試験施工を行っており、来年度は酒津漁港でも試験施工を行う予定である。</p> <p>これらの結果の情報提供による技術的支援など、県として可能な対応について引き続き検討していく。</p> <p>・新技術等実現化調査検討事業（サンドリサイクルシステム技術検討事業） 2, 599千円</p>
4 未来づくり推進局のあり方について	
現在、未来づくり推進局企画課は、県施策の企画、部局横断型施策のとりまとめ等の業務を行っているが、企画課	未来づくり推進局は、県政の大きな柱であるパートナー県政の推進と部局横断的な重要施策の企画立案・統括をその役割として平成23年7月に設けた組織である。

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
と事業執行部署との役割分担、ミッションが不明確であるため、その位置づけが中途半端な印象である。ついては、企画課をはじめ、未来づくり推進局のあり方について、検討すること。	平成26年度当初に向けては、企画課がその役割をより一層発揮するよう所管業務を一部見直すこととしている。 県組織のあり方については、絶えず見直しを続けていくこととしたい。
<p>5 野生鳥獣肉の衛生管理基準について</p> <p>家畜（牛肉、豚肉、馬肉等）については、「と畜場法」等により、厳しい衛生管理が定められているが、ジビエ（野生鳥獣肉）については、食品衛生法により、解体を食肉処理の営業許可を得た施設で行うことのみを定めているだけである。</p> <p>しかし、野生動物の肉には、人間の健康を損ねる細菌や寄生虫が生息しているリスクが高いため、特別の注意が必要である。その前提に立ってジビエの取組を進めるとともに、国に早急にジビエの衛生管理基準を定めるよう働きかけること。</p>	<p>県では、平成23年に「イノシシ・シカ解体処理衛生管理ガイドライン」を定め、処理業者への講習等を通じて衛生管理の徹底を図っているところであるが、更に衛生的な取扱いを向上させ、安全な鳥獣肉を流通させるために、有識者を交えた検討会を立ち上げ、本ガイドラインの見直しや鳥取県食品衛生法施行条例の改正を検討する。</p> <p>・野生鳥獣肉衛生管理検討事業 313千円</p>
<p>6 三徳山の遊歩道整備について</p> <p>三徳山は、今年3月に大山隠岐国立公園に編入される見込みであるが、これを契機として、さらなる観光客誘致、ウォーキングリゾートの推進を図るため、県が主体となって、遊歩道の整備を進めること。</p>	<p>国立公園の歩道整備は、大山隠岐国立公園の公園計画に三徳山地域に新たな歩道計画が位置付けられた上で、国が行うべきものである。自然と共生したツーリズム観光の基盤としての歩道整備も重要であり、まずは国立公園としてふさわしい自然と共生した効果的な歩道ルート・手法について、三朝町及び研究教育機関等と連携して検討していくとともに、環境省に対しても積極的に働きかけていきたい。</p> <p>また、来年度事業で計画している既設歩道の改修は、歩道管理者である三朝町と県が連携して再整備を図ることとしている。</p> <p>・国立公園編入記念「三徳山」魅力発見・発信事業 24,100千円</p>
<p>7 外国人観光客ツアーへのWi-Fiルータの貸出について</p> <p>鳥取どこでも・モバイル・インターネット事業において、Wi-Fiルータを20台整備する計画である。しかし、大交流時代を迎え、クルーズ船をはじめとして、外国人観光客の増加が想定されることから、Wi-Fiルータの整備台数の増加を再検討すること。</p>	<p>クルーズ船をはじめとする外国人観光客の増加に対応できるよう、Wi-Fiルータの整備台数を20台から50台に増加することとする。</p> <p>・鳥取どこでも・モバイル・インターネット事業 （変更後）9,710千円 （変更前）6,728千円</p>
<p>8 農地中間管理機構について</p> <p>来年度から米政策が見直しされることに伴い、農地の集</p>	<p>農地中間管理事業の実施に当たり、指定を予定している(公財)鳥取県農業農村担い手育成機構へ県</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>積と集約化を行う農地中間管理機構が今年3月に設置される予定である。しかし、県内農地の保有管理の状況は、地域によって、様々であることから、地域の実状に応じたきめ細かな対応を行うこと。</p>	<p>職員を派遣するとともに、中部・西部地域に地域駐在員4人を配置するなど推進体制を強化することとしている。また、農地中間管理業務の一部を地域の実情に詳しい市町村等に委託するなどして、きめ細かい対応を進めていくこととしている。</p> <p>現在、担い手育成機構と県で全市町村に出向き、JA及び農業委員会等も含め、市町村毎の事業実施体制や担い手への農地集積に向けた取組等の聞き取り及び意見交換を行う等、事業実施に向けた準備を進めているところである。</p> <p>当面は、この体制でスタートし、事業の実施状況を見ながら、何か課題等が生じた場合には、柔軟に対応することとしたい。</p> <p>・農地中間管理機構支援事業 336, 244千円</p>
<p>9 米子空港駐車場の整備について</p>	
<p>スカイマーク株式会社が米子鬼太郎空港へ新規就航したことに伴い、既設の駐車場では、駐車利用台数が不足することが見込まれるため、立体駐車場の整備等、抜本的な対応を検討すること。</p>	<p>現在、11月補正で計上した将来計画予備設計委託費により、今後の増便等に備え、必要となる駐車場の規模、候補地、構造等の検討を行っており、その結果や航空需要及び利用状況を見ながら、整備のあり方を検討していく。</p> <p>当面は、利用者を円滑に案内、誘導するなど利便性の向上を図るため、誘導員の配置や誘導標識の設置を行っていく予定である。</p> <p>・米子空港増設駐車場管理事業 61, 767千円</p>